

議会だより



平成30年 第4回 12月定例会 (予定)

- 12月 3日(月)10:00～本会議 提案理由説明
- 6日(木)10:00～本会議 質疑・付託
- 7日(金)10:00～各常任委員会 12日迄
- 13日(木) 9:30～本会議 一般質問
- 14日(金) 9:30～本会議 一般質問
- 19日(水)10:00～本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

主な記事

- ・委員会報告…………… P2～3
- ・特集「中学生模擬議会」…………… P4～5
- ・一般質問…………… P6～13
- ・審議結果…………… P14～15

委員会報告

～主な審査内容～

総務企画委員会

請願書第1号～請願第3号

「日本政府に「核兵器禁止条約」の調印・批准を求める意見書の提出に関する請願書について」請願書の審査を通じて、核兵器のない世界を目指すことを確認し、政府に対して核のない世界のために働くという趣旨の意見書を出すことを決し本会議で決議した。

核兵器のない世界を実現するために世界各国にさらなる働きかけをすることを求める意見書

核兵器の無い世界は我々日本国民の総意です。

しかし、世界そして東アジアの核の脅威は高まっています。核兵器なき世界は、核保有国が核を廃棄しない限り実現できません。「核保有国が核廃絶に動いていける」状況を積極的に作っていくことが重要です。そのためには核保有国と非保有国が同じ議論のテーブルについて真剣に核廃絶への努力をする枠組みを構築しなければなりません。その中で日本は、唯一の被爆国として核保有国と非保有国の橋渡し役となり、牽引していかなければなりません。

日本は核兵器のない世界に向け前進するために、NPT(核兵器不拡散条約)やCTBT(包括核実験禁止条約)、FMCT(核兵器用核分裂性物質生産禁止条約)に参加する取り組みを着実に実行しています。また、国連総会第一委員会(軍縮)において昨年10月27日に核兵器廃絶への共同行動を取る決意を新たにするとした日本政府主導の決議を賛成多数で採択されるなど、同種の提案を24年連続で行い核兵器廃絶に熱心に取り組んでいます。

大野城市議会では平成元年6月に「非核・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶を全世界の人々に訴えるとともに、人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることを誓いました。

よって、国においては、核兵器のない世界の実現に向け、さらなる行動・交渉を、強いリーダーシップを発揮しながら、より一層強力に進められるように要望します。

以上、地方自治法第九十九条の規定に基づき、意見書を提出します。

福祉文教委員会

第68号議案

「大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 家庭的保育事業等は4つの事業に分類される。その一つに事業所内の保育があるが、事業所内保育の中には企業主導型保育も含まれるのか

A 本条例において、市が認可する事業としての事業所内保育事業を規定している。企業主導型保育事業は内閣府が所管しており、これとは別の事業になる。

第69号議案

「大野城市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について」

Q この条例が県から市にかわることで、職員の方の業務の負担が増えることがあるか

A 指定権限や基準違反に対する命令、勧告等の権限が委譲され、事務の負担が増加するが、本市にある24カ所の事業所の更新時期はそれぞれ事業所によって異なるので、業務が集中するというわけではない。現行の体制で対応が可能であると考えている。

Q 事業者にとってのメリットや逆に条件が悪くなるようなことはあるか

A 条件が悪くなるということは特にない。市町村と介護支援事業所のケアマネージャーはこれまでも認定申請や利用者からの相談に対して密接にかかわりを持ってきたため、権限委譲により介護支援事業者側もより市町村と連携強化を図ることができ、地域の特色を活かしたサービス提供につながっていく。



予 算 委 員 会

第73号議案

「平成30年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について」

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億7768万7000円を増額

補正後の歳入歳出予算の総額を348億234万4000円とするもの

Q 市内公共施設のブロック塀調査について

A 本市の120の公共施設及び公園や緑地等を調査

している。基本的に高さが1.2mを超えるものを中心に調査を行い、違反となる2.2mを超えるものは今回無かったが、高さが1.2mを超えるもので不適合の可能性のある塀が15施設確認できた。

Q ハザードマップの形式について

A 現在市内にはA1八つ折り版のハザードマップを配付しているが、平成30年度中にブック形式で内容を詳しく書いた資料、計画規模と最大規模の浸水想定地図を入れるハザードマップの更新を計画している。

決 算 特 別 委 員 会

認定第1号

「平成29年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について」

Q 市財政硬直化の原因となる、公共施設の管理運営費と社会保障費の増大について

A 財源を全て見渡し、公債費を縮減することで社会保障費の増大、公共施設の改修等に取り組んでいく。また、できる限り補助金の獲得を図りながら進めていく。

Q 認定こども園の状況と待機児童解消の見込みについて

A 平成30年度に大野幼稚園が認定こども園となり、平成31年度には大野東幼稚園及び筑紫幼稚園が認定こども園に移行する。待機児童の解消については、まず既存の認可保育所の定員拡充、それから幼稚園の認定こども園への移行、それでも不足する場合は新設を考えていく。

Q 簡易申請端末機「しょうめい君」が、全コミュニティに配置されたが、利用状況について

A 平成30年4月から7月までの4ヶ月間の発行枚数の合計は、中央コミュニティセンター1079枚、東コミュニティセンター499枚、北コミュニティセンター805枚、南コミュニティセンター3294枚、市役所3964枚である。

Q 赤ちゃんの駅普及推進事業の内容について

A 子育て支援環境の充実を図るために、市内全域で登録施設における申請を受けており、条件を満たしたところにシンボルマークのステッカー掲示やのぼり旗などの設置をお願いしている。平成29年度は56施設になっている。

Q 放課後デイサービス事業の利用者数と事業所の運営状況について

A 実人数は、平成29年度152人、事業所数は17ヶ所である。現在、市内の放課後デイサービスは、特に問題なく運営が行われている。今後も、事業所の経営状況、運営状況をチェックしていく。

Q 災害時特設公衆電話設置事業で設置場所と通話料金について

A 全公民館、集会所、4コミュニティセンター、総合体育館の全部で36ヶ所に設置している。有線ではあるが、NTTの方で災害時に優先的に回線がつながるようになっている。基本的には、災害時に利用するもので、利用は無料である。

Q 災害時対策基金の目的について

A 災害から市民の生命、身体及び財産を守るとともに、災害の予防、応急対策及び復旧、復興を円滑に推進することを目的に、必要な財源を基金として3億円を積み立てるもの。

Q 教育サポートセンターの不登校相談件数と対応について

A 平成29年度1288件で、不登校675件、52.4%、次に発達課題・就学等113件、8.7%である。

不登校の相談等は、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの派遣、担当指導主事による学校訪問等に対応している。発達課題・就学等については、発達検査等の実施後、保護者へのフィードバックを行っている。

開催しました！

本議会

初

代表が 議長と議員に！ 鋭い質問・提案



堂々と質問



市長も答弁



夏休み中の8月23日、初の取り組みとして中学生模擬議会を開催しました。市役所4階の議場にて、本市5中学校の代表22人が、一日議員となり、議員が行政職員の立場で回答し、市長も見解を求められ答弁しました。

一人5分の一問一答方式で、給食や奨学金制度、防災対策についてなど、学校内外の市の施策について幅広く質問と回答がなされました。

中学生の声

私は、初めて今回模擬議会に参加し、普段どのように自分たちの地域について、議会が行われているのかを知ることができた。今回学んだことは学校での話し合い等に生かしていきたいと思う。

また、自分が住んでいる地域についてもっと知りたいと思った。

私たちの議会の進行状況によって、タイマーやマイクが動かされていて、一回の議会がどれほど重要とされているかを実感し、細かい所でどのように議会が支えられているのか興味を持った。



中学生議員たち

今回体験した模擬議会を通して、私たちが暮らしている大野城市は、議員の皆さんや市の協力者のおかげで、安全で活気のある街になっていることを改めて実感しました。

人に見られない活躍をしている議員さんはとても素晴らしいと思いますし、自分も将来、人の役に立ちたいと思いました。

中学生 模擬議会

8月23日 5中学校より 3年生22人の

中学生議員名簿・質問内容

大野中学校

| | |
|----------|---------------|
| 1 倉掛 結依菜 | 1. 安心・安全について |
| 2 坂下 統貴 | 1. 教育について |
| 3 平井 伶 | 1. 市の街づくりについて |
| 4 宮田 万優 | 1. 安心・安全について |

平野中学校

| | |
|----------|------------------|
| 5 井上 雄太 | 1. 若年層の投票率について |
| | 2. 不登校生徒への対応について |
| 6 長岡 真由 | 1. 街づくりについて |
| | 2. 環境について |
| 7 井上 裕加里 | 1. まちづくりについて |
| | 2. 国際化対応について |
| 8 神代 大志 | 1. 防災対策について |
| | 2. 介護について |

御陵中学校

| | |
|------------|----------------------------|
| 9 塚本 兼也 | 1. 大野城市奨学資金制度について |
| 10 安田 真輝 | 1. 大野城市の災害発生時の対応及び防災対策について |
| 11 久保田 風太郎 | 1. 地域の環境美化について |
| | 2. 食文化の宣伝について |
| 12 井上 奏 | 1. 地域・文化の交流について |
| | 2. 地域防災について |

大野東中学校

| | |
|-----------|-----------------|
| 13 松井 俊之佑 | 議長 |
| 14 大迫 優輝成 | 1. 学校施設の整備について |
| 15 山本 七海 | 1. 学校教育について |
| 16 市田 翔悟 | 1. 国際交流事業について |
| 17 塚本 夏帆 | 1. 自転車通行の安全について |

大利中学校

| | |
|----------|------------------|
| 18 坂井 稜 | 1. 教育について |
| 19 鷲崎 日南 | 1. 学校区及び通学について |
| 20 川村 良介 | 1. 道路整備について |
| | 2. 施設の利用について |
| 21 山中 咲幸 | 1. 市の事業について |
| | 2. ごみ処理について |
| 22 嶋田 光 | 1. 学校給食・学校時制について |



議員が執行部役



白石議長にケーブルテレビより取材



答弁する高山副議長

模擬議会の目的

- 中学生が議会制民主主義を体験する貴重な機会であるとともに、模擬議会のDVDを社会科公民の授業の学習教材に活用する。
- 中学生が市行政のことや、市議会の仕事や役割を学ぶこと。
- 中学生が市や地域のことに関心を持ち、人とのつながりを大事にする心を育てる機会となる。
- 市、市議会は、中学生の目線で問題点や意見、提案を聞き、今後のまちづくりの参考にする。

市議会は、市民にとって住みやすい街になることを願って、今後もさらに市民に開かれた議会にしていくことを、全員で取り組んでいきます。

市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会


一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像を見ることができます。

| 氏名 | 件名 |
|-------|---|
| 田中 健一 | ★平成30年7月豪雨(西日本豪雨)災害について |
| 関岡 俊実 | ・会計年度任用職員制度の導入に向けた取り組みについて ★西鉄連続立体交差事業に係る駅周辺の現状と課題について |
| 福澤 信光 | ★平成30年7月豪雨を受け本市の今後の対応等について ・心の家庭教育について |
| 森 和也 | ・更生保護・保護司について ★各学校等の安全対策について |
| 河村 康之 | ★障がい者福祉サービスについて ・福祉避難所の利用と今後の在り方について |
| 松崎百合子 | ★子どもが健やかに育つ権利と中学校の完全給食・自校方式の実施について |
| 中村 真一 | ★小中学校プール及び北市民プールの活用整備について ・平成30年7月豪雨について |
| 平井信太郎 | ・災害避難時の動物(ペット)に対する対応について ★道路側溝蓋かけについて(平成27年6月) ・聴覚障がい者に対する意思疎通支援事業について(平成27年12月) ・大規模災害時における本市の対応について(平成28年6月) ・本市における危険地域とその対応について(平成29年3月) ・小学校におけるセキュリティ対策について(平成29年6月) ・中学生の制服の衣替えについて(平成29年6月) |
| 松下 真一 | ★本市の滞納整理の方針について |
| 松田美由紀 | ・ユニバーサルデザインに配慮した印刷物等について ★麻しん・風しんについて |
| 関井 利夫 | ★義務教育課程の英語教育について ・大野城市国際化推進プランについて |
| 大塚みどり | ・介護について(「100万人訪問・調査運動」の本市に関するアンケート) ★子育てについて(「100万人訪問・調査運動」の本市に関するアンケート) ・防災・減災について(「100万人訪問・調査運動」の本市に関するアンケート) |
| 清水 純子 | ★支援を必要としているすべての子どもに支援をするための「地域子供の未来応援交付金」の活用について |
| 井福 大昌 | ★災害時の迅速で強力な緊急時対応体制の確立のために ・連続立体交差事業の進捗について(平成29年12月) ・動物愛護について(平成28年9月) |

◆ 議会の動き ◆

| | | | | | |
|----------------------------|-----------------------------------|---|----------|----------------------|--|
| 10月29日 | | 9月3日 | | 8月3日 | |
| 福岡県中部十市議会議長会 議員研修(大野城市) | | ・本会議(初日) ・全員協議会 | | ・議会運営委員会 ・全員協議会 | |
| | 26日 | 6日 | 27日 | 27日 | |
| | ・議会運営委員会 ・市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会 | ・本会議(2日目) ・議会運営委員会 ・総務企画委員会 ・福祉文教委員会 ・予算委員会 | ・議会運営委員会 | ・議会代表者会議 ・議会運営委員会 | |
| | 21日 | 7日 | | | |
| | ・本会議(最終日) ・本会議(4日目、一般質問) | ・福祉文教委員会 ・総務企画委員会 ・予算委員会 | | | |
| | 20日 | 11日 | | | |
| | ・本会議(3日目、一般質問) | ・総務企画委員会 ・決算特別委員会 | | | |
| | 18日 | 12日 | | | |
| | ・決算特別委員会 | ・決算特別委員会 | | | |
| | 14日 | 13日 | | | |
| | ・決算特別委員会 | ・決算特別委員会 | | | |



今年7月の 西日本豪雨災害について

田中健一



問 今年7月西日本豪雨災害の本市の災害状況及び避難状況等は

答 中配水池付近と平野台地区の崖崩れ2件、大字牛頸での裏山が崩れ住宅に土砂が流入1件、土砂流出、法面崩壊、水路から溢水等被害が発生した。

問 避難状況は、17区の公民館及び4つのコミュニティセンターに、延べ避難者数は192世帯、372名である。

問 大野城いこいの森キャンプ場の上流の風倒木と濁流被害の状況及び対策は

答 大野城いこいの森キャンプ場の上流域に急傾斜地の崩壊が発生した。二次災害防止のため渓流に大型土のう等を仮整備し、崩落部分保護など本復旧へ向けた準備のほか、治山ダム of 早期設置を県に要望している。

問 平野台区の山手の法面崩壊と渓流の状況及び対策は

答 さがでん付近法面の表土崩壊の復旧及びB渓流の水路の排水機能の改善は、現在調査し工法等

を検討している。
C 渓流の治山ダムの管理用道路横の法面の崩壊は、県に復旧工事の早期着手を協議している。

問 災害防止のため、御笠川上流にある牛頸ダム、北谷ダムの貯水量や放流のタイミング等御笠川の水量について協議しているのか

答 協議していないが、「御笠川水系改修事業促進協議会」で河川改修を要望中。現在、筑紫野市の緊急事業に目途がつき次第、本市域の改修に着手すると聞いている。



キャンプ場上流域の急傾斜地崩壊の様子

※法面とは、人工的に造られた、斜面



▲映像はこちら

西鉄高架化に伴う 駅周辺の整備について

関岡俊実



問 下大利南ヶ丘線のバス路線の変更とバス停の移設について

答 現在の下大利商店街を通過するバスルートは、JRの大利アンダーパスを通過するルートへ変更する。それに伴い、現在のイオン下大利店前にあるバス停を大利アンダーパス近くに移設することで協議している。変更の時期については、駅西口のバスロータリーに至るルートを暫定的に設ける案があるが、現在の下大利南ヶ丘線は朝夕のラッシュ時間は踏切遮断による渋滞が激しいため、西鉄連続立体交差事業の完了後と考えている。

問 交番設置の見通しについて

答 警察との協議で示された条件、及び新設された春日警察署を言めた市内交番の配置バランスを考慮するとともに、犯罪抑止に効果的な場所と考えると、急行電車が停車し、バスの本数や利用者が多い下大利駅の周辺は候補地の一つに挙げられる。今後最適な場所については警察、地元と協議を行うところ。

問 JR水城駅及び駅周辺の環境整備について

答 駅舎内のバリアフリー化については、平成32年度までのバリアフリー整備に向けてJR九州と協議を密にしている。また、JR水城駅周辺の歩道を整備することを計画しており、現在バリアフリーに配慮した歩道整備に向けて事業を進めている。



JR水城駅構内の移動階段



▲映像はこちら

平成30年7月豪雨を受け 本市の対応等は？

福澤 信光



問 本市の被害はどの程度あったか。また、人的被害はあったのか

答 本市における被害は、崖崩れや土砂流入など全体で38件発生したが、人的被害は、発生していない。

問 災害対策本部と現場の連携はしっかりと取れていたのか

答 各避難所には、災害対策本部の避難対策部職員が、避難所運営の支援や巡回を行っており、随時災害対策本部と連携をとっている。

問 今回、大野城市で初めて大雨特別警報を経て避難指示が出たが、避難指示はどのような意味をもたらすのか。また、避難勧告との違いは

答 避難指示とは、災害による人的被害の危険性が高まった場合に発するものであり、避難勧告よりも拘束力が強く、その地域の居住者等を避難のために立ち退かせるもの。



▲映像はこちら

避難勧告とは避難を拘束するものではないが、居住者等がその勧告を尊重することを期待している。市民には災害時に市が発令する避難勧告や避難指示などの意味を正しく理解し、適切な行動をとってもらいたい。避難指示を発令したにもかかわらず避難をしない方がいたことは、今回の災害対応の課題のひとつと考える。

各学校等の安全対策について

森 和也



問 本市の小中学校では、各校の事情に沿った独自の安全対策マニュアルが整備されているか

答 本市の全小中学校には、危機管理マニュアルまたは不審者対応マニュアルが整備されている。特に不審者対応マニュアルは、学校の状況に応じた適切な対応方法のマニュアルとなっている。

問 本市の保育所、小学校、中学校の、最新の防犯カメラ設置状況について教えていただきたい

答 小中学校全15校に設置している。また、市立保育所各3園に防犯カメラを設置している。

問 同じく、校内緊急通報装置の設置状況はいかがか

答 避難指示などを行ったりするための非常用放送設備や、各教室と職員を結ぶインターホン等の通報装置を設置している。ハード面については緊急事態発生を関係者に迅速にかつ的確に伝達する装置やシステムを、先進自治体の事例を調査し研究していきたい。

問 同じく、さすまたや催涙スプレーは整備されているか

答 全小中学校でさすまたや催涙スプレー、それ以外に竹刀や木刀等を装備している。さらに不審者侵入を想定し、装備の強化を図っている。不審者侵入を想定した訓練や研修についても、全小中学校で実施している。市立保育所についても、さすまたなどを配備している。また、防犯ブザーを各保育室に配備している。



緊急放送システム
(トランシーバーで校内放送できる)



▲映像はこちら

障がい者への「福祉タクシー事業」の拡大を！

河村 康之



問 「福祉タクシー料金助成事業」のサービスを受けられる対象者とその人数は

答 外出が困難と考えられる在宅の、視覚障がいや肢体不自由・内部障がいなど重度の身体障がい者、重度の知的障がい者、重度の精神障がい者等が対象で、平成29年度の対象者は約1140人。

問 「福祉タクシー料金助成事業」に対して、「タクシー利用券」と「自動車の燃料費の助成」のどちらか選べる制度の導入について、実態調査・支援のあり方を研究する、と以前言っていたがどのような研究を行ったのか

答 「タクシー料金助成」と「自家用車の燃料費の助成」を選択できる自治体の調査を行い「選択制を導入」することにより、障がい者の移動手段に配慮した、きめ細やかなサービスが展開されており、本市でもこの「選択制度」の調査・研究を進めていきたいと考える。



▲映像はこちら

問 今後の「福祉タクシー料金助成事業」で、利用者への新たな支援の実施をどう考えているか

答 現行はタクシーの初乗り運賃のみが割引だが、他県では利用者の料金負担を抑えるため、複数枚のタクシー券を使える自治体もある。そこで、他の自治体を参考にし、障がい者の外出支援に対するニーズの調査を行い、より利用の状況にあった制度となるよう「福祉タクシー料金助成」の内容について今後検討を行っていきたいと考える。

中学校でも豊かな自校方式・完全給食を！

松崎 百合子



問 中学校昼食選択制の現状は

答 弁当持参が7割、ランチ給食サービスが2割、パン給食が1割となっている。

問 選択制がよいと考える理由は

答 生徒、教職員及び保護者対象のアンケートで8割から9割の支持がある。

問 全小学校、公立保育所では、自校方式の完全給食が実施されている。自校方式の良さは

答 配送の手間がかからないこと、生徒と調理員のコミュニケーションがとれること、調理から喫食までの時間が短いことなど。

問 子どもたちの成長支援には学校給食が有効と考えるが

答 学校給食では栄養バランス等を考慮し献立を作成し、子ども達の栄養確保を行っている。

問 本県で完全給食を実施していない自治体は

答 本市のほか3自治体である。

問 完全給食のメリットは

答 栄養バランスが考えられた食事、保護者の負担が少ない、統一的な食事指導ができること。

問 予算、補助金の見込みは

答 自校方式では設備費が約12億円、調理員民間委託費が年間で6710万円。センター方式では設備費が約15億円で民間委託費が年間約4720万円。国からの補助金は、設備費で約2分の1が補助の対象となる。

問 完全給食自校方式への移行は

答 選択方式を今後も継続の考え。



学校給食調理員料理コンクール
2018年度優勝校
下大利小学校 メニュー



▲映像はこちら

小中学校プールの整備及び管理について

中村 真一



問 各学校の改修状況と改修計画は
答 改修は、プール水槽の防水、プールサイドの床、ろ過機の取替え、修繕の主に4種類の内容について、大野城市公共マネジメント計画に基づき計画的に実施。今年度は大野・大利小2校のプールを改修予定である。

問 年間の使用状況は
答 小学校は約1ヶ月間と夏休みのプール開放日。中学校は水泳部がある平野・大利中は約4ヶ月間。水泳部のない学校は約1ヶ月間となっている。

問 年間の維持管理費は
答 プールに個別メーターをつけていないので毎月の金額等から算出している。水道・下水道料金が約760万円、電気料金が約160万円、水質管理に係る費用が約220万円、夏休みのプール開放時の管理運営業者への委託料約1170万円（平成27、29年度）を合わせて合計で2310万円だった。

問 小中学校の水泳授業に民間プールを活用してはどうか。夏休み中の学校プール開放の代わりに民間プールが安価に利用できるような補助金を出してはどうか

答 授業及び夏休み期間中の学校プールの開放を民間プールで実施することになればコスト削減が見込まれることから、本市においても検討に値すると考えている。様々な課題のクリアが必要となるため先進自治体の事例等を調査し、本市の学校プールについて研究していく考えである。



▲映像はこちら

側溝の蓋かけ工事がスピードアップします！

平井 信太郎



問 平成29年度までの道路側溝蓋かけ工事の進捗状況はどのようになっているか

答 道路蓋かけ工事は、平成26年度、27年度に、試験的な整備を実施し、平成28年度より本格的に実施している。平成29年度までの蓋かけ工事の進捗状況は、延長で12km、進捗率は、約34%の蓋かけ工事が完了している。平成27年からの3年間の実績は、平成27年度2296m、28年度3473m、29年度4929mを整備した。

問 平成30年度以降の蓋かけ工事の予定は、どのような計画になっているか

答 平成30年度までについては、年間4000mの蓋かけ工事を実施しているが、迅速化を図るため、平成31年度からは、整備延長を3000m追加して、年間7000mを目標として工事を進めていく計画となっている。

問 蓋かけ工事の完了はいつ頃か
答 現在のところ蓋かけが実施されていない道路側溝延長が約23km残っている。平成31年度より年間7000mを整備する計画としたことから、当初完成を予定していた平成35年度から2年間前倒しをして、平成33年頃に、蓋かけ工事が完了する見込みとなっている。



▲映像はこちら

本市の滞納整理の方針について

松下 真一



問 市税（国民健康保険税等）を滞納した場合、どのような対策をおこなうのか

おこなうのか

答 生活が苦しく納付が難しい納税者には収入や支出、財産状況等を詳しく聞き取り、他の法律による制度が利用できる場合は手続き案内、生活状況全般の見直しが必要な場合生活困窮者自立支援事業に案内している。分割納付の金額を決めるなど行っているが、約束の履行ができなかった場合、財産調査を行い滞納処分を行う場合もある。

問 地方税法第八節にある納税の猶予とは

予とは

答 徴収猶予とは、納税者が震災や風水害等の災害を受けた時、病気になる時、事業を廃止した時等、一度に納付することができないと認められた場合に適用するもので、申請による換価の猶予と、担保提供の条件の引き上げの見直しが行われている。

本人の納税計画は配慮するが、猶予期間を過ぎてても完納できない場合、滞納処分を行う場合がある。

ある。

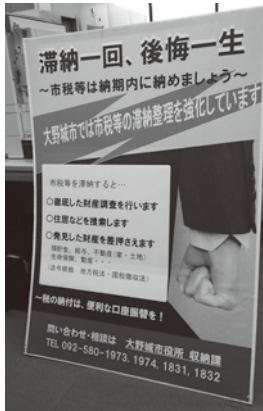
問 強権的な徴収対策をおこなっていないか

いないか

答 全て差押えを行っているわけではなく、地方税法の定めにより、滞納処分の執行停止も遵守している。

問 滞納者の生存権擁護の見解

答 国税徴収法も地方税法もやむを得ない場合には滞納処分を行わない規定がある。納税者の話をしっかりと聞き、生活再建の道を示す事が必要と考える。



▲映像はこちら

麻しん(はしか)・風しんの感染予防対策は

松田 美由紀



問 本市の麻しん・風しん予防接種率について

率について

答 国の麻しんに関する特定感染症予防指針において接種率目標95%以上を示しているが、本市は直近3年間とも国の目標を上回る接種率となっている。

問 今年3月に沖縄県で発生し全国に広まった麻しんは春日市でも

20代男性が感染し、福岡県でも患者が相次いだ。本市のはしか

答 の患者数を伺う
県内20人の患者が確認され、そのうち本市のはしかの患者は子どもが1人、大人が2人の合計3人となっている。

問 はしか感染予防や対策はどのように行ったか

答 市内で緊急事態調整会議を開催し、保育所、学校、公民館等の関係機関や市のホームページを通してはしかの発生状況のお知らせ及び感染拡大対策について注意喚起を行った。はしかが疑われる場合は事前に医療機関へ連絡すること、医療、教育関係

者や海外へ行く予定の方に対し予防接種を勧めるなどの強化を行った。

問 風しん抗体検査事業について

答 風しんの患者が増加傾向にあり、感染予防のため、市のホームページで風しんの発生状況や抗体検査事業について周知を図っている。任意予防接種の費用助成については、市単独ではなく、今後の厚生労働省や県の方針、医師会の意見などの動向を注視しつつ、適切に判断をしていきたい。

妊活の第一歩!

20-40代の女性の約14%は、麻しんの感染予防に十分な抗体を持っていません。

妊娠した女性(とくに妊娠20週頃まで)が麻しんにかかると、赤ちゃんに髄膜炎、心疾患、白内障などの障がいや先天性麻しん症候群が出る可能性があります。

× 妊娠中は予防接種を受けることができません。妊娠前に予防接種を受けることを検討ください。

男性も注目!

麻しんの患者の7割以上が男性、そのうち8割以上が20-40代。

| | | | |
|----|-----|----|-----|
| 女性 | 23% | 男性 | 77% |
|----|-----|----|-----|

20-40代 81% | 50代以上 9% | 20代未満 10%

方が一にも、お二人の赤ちゃんが先天性麻しん症候群にならないように、妊婦の周りにいる男性も予防接種を受けることを検討ください。

厚生労働省ホームページから抜粋



▲映像はこちら



問 英語教育の今後、2020年実施の方向性、方法などの想定しているものは

答 2020年の本格実施を見据え、文部科学省は英語教育の今後の方向性として、小学校、中学校、高等学校を通じた、聞く、話す、読む、書くといった4技能育成の接続を重視している。そこで本市では、小中学校の4技能育成の接続を目指し、小学校には6名のALTのほか、1名ずつ外国語指導員を配置し、担任と外国語指導員、ALTを加えた複数指導体制で授業を実施している。また、県英語担当指導主事の指導助言を得ながら、より効率的、効果的な授業づくりについて教職員に研修を行っている。

問 ICT活用での英語教育実施の考えについて

答 タブレットなどのICTを活用して英語学習アプリ等を使用しながらの学習に取り組めるような環境整備については、各小中学校のパソコン教室に設置している現在のデスクトップPCを、

その更新時期に合わせてタブレットPCに変更する計画で2019年中には完了の予定。これまでパソコンの使用は専用教室で限られていたが、タブレットPCは移動が可能となるため、普通教室でも使用できるようにする。そのための無線LANも整備している。



▲映像はこちら

子育て世代の悩みの解消や経済的負担軽減を



問 子育てについて、「100万人訪問・調査運動」の本市に関するアンケートで、「制服や通学用品の購入や買い替え費用が重い」と、経済的な負担を感じていた。見解を伺う

答 業者選定の際、契約は公正を期すように校長会等で指導している。公正取引委員会が示す文書を資料に、販売業者が1社になることもあるので仕様書を公開し、どんな点に工夫が残っているか、「学校における通学用品等の学用品等の適正な取扱いについて」という文部科学省の通知を基軸とし、進めたい。

問 3月議会一般質問での就学援助の入学前支給について、その後の調査・研究を伺う

答 筑紫地区は、本市以外すべての市町村で入学前支給を実施していた。本市においても前向きに検討したい。

問 未就学児を持つ親の心配事で、いじめや学校生活の友人関係の項目が高かった点について、本

答 市の見解や取り組みを伺う
乳幼児期から18歳までの相談窓口を統一することは重要である。妊娠前から就学前までの切れ目のない支援を行うために、子育て世代包括支援センターの設置に向けて検討している。子ども相談センターや教育サポートセンターと連携し、一人一人に寄り添った支援体制の拡充や、層的で切れ目のない支援策を充実させ、将来ふるさと大野城を担う子どもたちの育成にさらに力を入れていきたい。

市内中学校：制服等の金額 (円)

| | | | | |
|-------|--------|--------|------|---------|
| 男子冬服 | 一番高い金額 | 35,650 | ● 差額 | 12,550円 |
| | 一番低い金額 | 23,100 | ● 差額 | 7,570円 |
| 女子冬服 | 一番高い金額 | 35,650 | ● 差額 | 2,560円 |
| | 一番低い金額 | 28,080 | ● 差額 | 3,650円 |
| 体操服夏冬 | 一番高い金額 | 12,550 | | |
| | 一番低い金額 | 9,990 | | |
| カバン | 一番高い金額 | 9,150 | | |
| | 一番低い金額 | 5,500 | | |

- 5校平均値 冬服：男子29,490円 女子32,626円
- 他に、夏用制服、靴なども購入。



▲映像はこちら

障がい児支援、福祉・子ども・教育一体化を

清水 純子



問 子どもの貧困問題は複雑で、時間が経過するほど不登校、虐待、いじめ、自死に連動するが、その把握と対策は

答 子どもの貧困対策として、児童扶養手当や就学援助などの取組を行っている。また、本年度策定予定の、「夢とみらいの子どもプランⅢ」の基礎資料とするため6月に、乳幼児から青年期までの子どもと保護者8555人を対象にアンケート調査を実施。調査内容は、家庭の生活状況や貧困の状況にある子どもや保護者の支援ニーズを把握するための質問や市が実施している施策の認知度や利用度に関する質問も追加。現在、集計・分析中。実態を把握し具体的な支援に取り組むべく。

支援を実施している先進地もある。こだわりを持っている子どもや親への支援は

答 子どもの発達に困り感を持つ保護者には早期支援により、育児不安の解消に努め、子ども療育支援センターにおいては、身体機能の訓練や社会適応性の向上訓練などを実施。子育て世代包括支援センター等今後設置を検討する予定であり、関係機関の一本化など研究していく。



問 貧困、不登校、発達障がい

は複合的に重なり合っていることもあり、地域子どもの未来応援交付金を活用した実態調査により発達障がい児の様子も見えてきて、縦割りである行政の部門を超えて横へつなぎ一貫性のある



▲映像はこちら

災害時の強力な緊急対応体制の確立のために

井福 大昌



問 近年異常気象が増えてきており、今後さらに災害時のマンパワーが必要になる可能性があるが、現状で職員のマンパワーは足りているか

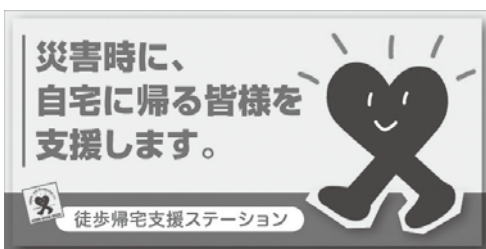
答 今後、現在の職員数では不足することが想定される。そのため、様々な災害時の応援協定を締結している。今後も、外部団体からの応援を受けることが出来るシステムの充実を図り、今年度中に「大野城市災害時受援計画」を策定する。

問 障がい者、高齢者、傷病者など、避難行動要支援者の状況はどうだったか。課題と対応策は

答 避難が難しいという方に対して、社会福祉協議会のリフトカーで避難所へ移動支援を行った。課題として、避難行動要支援者名簿を活用した要支援者の確認や、積極的な支援活動ができていなかったため、今後は、関係機関や団体と連携し、支援活動が行える仕組みを調査・研究したい。

問 当日、交通渋滞と電車の運行休止で帰宅困難者が多く出たが大野城市内への帰宅困難者への安否確認と対応はできたか

答 白木原駅に帰宅困難者があふれているという通報が入り、それが主に高校生だったことから、高校側と連絡を取りながら対応した。今後は、市民が市外で帰宅困難となった場合の対応について、市としての具体的な計画はないので、検討していきたい。



ガソリンスタンドやコンビニでは徒歩帰宅者への支援を行っている



▲映像はこちら

9月定例会

平成30年9月定例会を

9月3日(月)から9月26日(水)まで開催

34の案件を審議し、全て可決・承認・同意・認定。報告が9件。

14名の議員が一般質問。

審議結果一覧

平成30年第3回9月定例会

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | 付託委員会 |
|--------|---|-----------------------|---------|
| 第66号議案 | 大野城市税条例等の一部を改正する条例の制定について | 全会一致可決 | 総務企画委員会 |
| 第67号議案 | 大野城市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について | 〃 | 〃 |
| 第68号議案 | 大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 〃 | 福祉文教委員会 |
| 第69号議案 | 大野城市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について | 〃 | 〃 |
| 第70号議案 | 専決処分した事件の承認について(大野城市南デイサービスセンター地内における車両破損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について) | 承認 | — |
| 第71号議案 | 専決処分した事件の承認について(つつじヶ丘中央緑道内の樹木折損による住宅フェンス破損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について) | 〃 | — |
| 第72号議案 | 専決処分した事件の承認について(平成30年度大野城市一般会計補正予算(第3号)) | 〃 | — |
| 第73号議案 | 平成30年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について | 賛成多数 可決 (賛成18・反対1) | 予算委員会 |
| 第74号議案 | 平成30年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について | 全会一致可決 | 〃 |
| 第75号議案 | 平成30年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第1号)について | 〃 | 〃 |
| 第76号議案 | 平成30年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について | 〃 | 〃 |
| 第77号議案 | 平成30年度大野城市土地区画整理清算金特別会計補正予算(第1号)について | 〃 | 〃 |
| 第78号議案 | 平成30年度大野城市水道事業会計補正予算(第1号)について | 〃 | 〃 |
| 第79号議案 | 平成30年度大野城市下水道事業会計補正予算(第1号)について | 〃 | 〃 |
| 第80号議案 | 平成30年度大野城市一般会計補正予算(第5号)について | 〃 | 〃 |
| 第81号議案 | 平成30年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について | 〃 | 〃 |
| 第82号議案 | 平成30年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第2号)について | 〃 | 〃 |
| 第83号議案 | 平成30年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について | 〃 | 〃 |
| 第84号議案 | 平成30年度大野城市水道事業会計補正予算(第2号)について | 〃 | 〃 |
| 第85号議案 | 平成30年度大野城市下水道事業会計補正予算(第2号)について | 〃 | 〃 |

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | 付託委員会 |
|---------------------|--|------------------------|---------|
| 認定第1号 | 平成29年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について | 賛成多数 認定 (賛成17・反対2) | 決算特別委員会 |
| 認定第2号 | 平成29年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 全会一致認定 | 〃 |
| 認定第3号 | 平成29年度大野城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | 〃 | 〃 |
| 認定第4号 | 平成29年度大野城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 〃 | 〃 |
| 認定第5号 | 平成29年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について | 〃 | 〃 |
| 認定第6号 | 平成29年度大野城市土地区画整理清算金特別会計歳入歳出決算認定について | 〃 | 〃 |
| 認定第7号 | 平成29年度大野城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について | 全会一致可決 及び認定 | 〃 |
| 認定第8号 | 平成29年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について | 〃 | 〃 |
| 報告第8号 | 平成29年度大野城市健全化判断比率について | 報告 | — |
| 報告第9号 | 平成29年度大野城市水道事業会計資金不足比率について | 〃 | — |
| 報告第10号 | 平成29年度大野城市下水道事業会計資金不足比率について | 〃 | — |
| 報告第11号 | 平成29年度大野城市一般会計予算継続費精算報告書について | 〃 | — |
| 報告第12号 | 平成29年度大野城市土地開発公社の決算について | 〃 | — |
| 報告第13号 | 平成29年度公益財団法人大野城まどかびあの決算について | 〃 | — |
| 報告第14号 | 平成29年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の決算について | 〃 | — |
| 報告第15号 | 平成29年度公益財団法人大野城市体育協会の決算について | 〃 | — |
| 報告第16号 | 専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について) | 〃 | — |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 全会一致同意 | — |
| 請願第1号 ↳ 請願第3号 | 日本政府に「核兵器禁止条約」の調印・批准を求める意見書の提出に関する請願書 | 賛成少数 不採択 (賛成6・反対13) | 総務企画委員会 |
| 意見書案 第1号 | 核兵器のない世界を実現するために世界各国にさらなる働きかけをすることを求める意見書の提出について | 全会一致可決 | — |
| | 議員の派遣について | 承認 | — |

賛否の分かれた議案(平成30年第3回9月定例会)

| 議員氏名 | 改革フォーラム | | | | 自民大野城 | | | | 自民まどか | | | | 公明党 | | | | 会派に所属していない議員 | | | |
|---------------------|----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|-----------|----------|
| | 松崎 正和 | 関岡 俊実 | 松田 美由紀 | 福澤 信光 | 松崎 百合子 | 山上 高昭 | 天野 嘉久孝 | 井福 大昌 | 平井 信太郎 | 田中 健一 | 高山 やす子 | 森 和也 | 中村 真一 | 関井 利夫 | 井上 正則 | 白石 重成 | | 河村 康之 | 大塚 みどり | 清水 純子 |
| 第73号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ● |
| 請願第1号 ↳ 請願第3号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — | ● | ● | ● | ○ |

(○：賛成、●：反対、—：議長は表決に加わらないため)

— 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 陳情第4号 | 「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望 |
|-------|----------------------------------|

作品紹介

俳句

- 市の花や桔梗は家紋縁に満ち
(乙金台・泉 満夫)
- しゃぼん玉尾っ歩につけば猫だまし
- 賞品はお米を貰う運動会
- 幸せを舌で転がすさくらんぼ
(大城・すっぴんの昭)

短歌

- こんなにも力を抜ひていいものか
風のまにまに揺れるコスモス
(若草・高名 稔)
- 名も知らぬ花に自ら命名し
葉っぱに触れてミドリちゃん
一本道毎日通れど日替りに
会う人ゼロか4・5人の時も
○昼寝時蟬の鳴き声聞こゆれば
「あつセミが鳴いてる」と驚くお子が
(緑ヶ丘・平井静代)

川柳

- 雨の日も照る日も必要傘一本
- 秒針は刻々動き日は終り
- マイチャリに「お世話になるネ」と声を掛け
- 甲子園馴染みの曲が風に舞い
- 日焼け顔鏡に写りて笑み浮かべ
灼熱を浴びれど枯れぬドクダミ草
(緑ヶ丘・平井静代)
- ばあちゃんに壁ドンやってすね蹴られ
- 飼い主によく似た顔の犬を連れ
- 鏡見て左右の入れ歯間違える
(大城・すっぴんの昭)

～作品掲載希望者募集～

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

- 募集作品(未発表のものに限ります) ・俳句 ・川柳 ・短歌 ・写真
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議事事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ
(〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 Tel. 580-1938)
- 注意事項
 - ・未発表のものに限ります
 - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください
 - ・提出された作品は、返却しません
 - ・ペンネームでも可とします
 - ・採用された作品は、平成31年2月15日号に掲載予定です



大学生が、議会事務の就業体験!

— 素敵なパンフレットができました —

8月30日から10日間の日程で、4名の大学生が議会事務の就業体験に来ました。実際に議会本会議や委員会を傍聴するなど議会の仕組みを学び、子ども用と大人用の2種類の「議会の仕組みパンフレット」を作成しました。

このパンフレットは、議会ホームページから見るすることができますので、ご覧ください。



- 福岡女学院大学 樋口郁実さん
- 福岡女子大学 多田愛世さん
- 九州産業大学 桑原彩里さん
- 福岡大学 児嶋沙紀さん

広報委員会

- 委員長 高 山 やす子
- 副委員長 森 和 也
- 委員 松 田 美由紀
- 委員 山 上 高 昭
- 委員 大 塚 高 みどり
- 委員 松 塚 百合子

あんな

今年は、類に見ない猛暑が続き、8月には大型の台風や大阪北部・北海道胆振(いぶり)北部地震と立て続けに起こる災害に環境の変化に危機感を感じざるを得ませんでした。

本市においても昨年度は中止せざるを得なかった敬老の日の祝賀会が、各区で開催され、参加者のみなさんがお互いの健康を慶び合い再会に感謝されている姿に涙腺が熱くなりました。

これからもこの平穏の生活が続きますようにと祈りながら会場を後にしました。

(高山やす子)

